

学生の皆さんへ

授業の出欠について

本学では、授業への出欠状況を正確に把握するため、出欠管理システムを活用した厳正な成績評価を行っています。

各学期の授業は成績評価を含め15回実施され、全ての回に出席することが原則です。毎年、卒業判定において、単位不足で条件を満たせずに留年する学生がおります。その原因は、出席不良による失格であることが多いのが現状です。

まとめのテスト受験には「3分の2以上出席」という条件が設定されておりますが、この条件について、「3分の1まで休んで良い」と解釈することは誤りですので、注意してください。

また、出欠データは成績判定やGPAに影響することに加え、特待生・奨学金等の判定用の資料として用いられるため、皆さんの学生生活にも関係する重要事項です。

出欠に関する以下の基本事項を理解し、学修にしっかり取り組んでください。

出欠について

授業時には、いずれかの方法で出席の確認が取られます。

- ① UNIPA スマートフォン出席機能による確認
- ② 受講者名簿に沿った氏名の読み上げによる確認
- ③ 出席カードへの記入
- ④ 課題提出・テスト実施等

欠席する場合には、理由に応じて手続きが必要となることもありますので、履修ガイドを参照してください。

出欠管理システムについて

本学では、学生ポータルサイト UNIPA を活用した出欠管理を行っています。

各自の端末から UNIPA にログインし、出欠状況を確認することができます。

今年度より、学生の皆さんの出席状況や成績は、保護者の方も UNIPA からリアルタイムで確認することが可能となります。

UNIPA に表示されている出欠状況に疑問がある場合は、授業担当の先生に尋ねてください。

出欠データの活用について

出欠データは、以下の用途に使用されますので、留意してください。

- ① 学生表彰・特待生・奨学金等の判定用資料として
- ② 学生の担任、学習支援センターや教務課の学生指導用資料として

著しい出席不良・成績不振がみられる場合、単位が修得できないだけでなく、特待生の資格取り消しや、修学指導が行われることがあります。